

1972年7月のO-4に全長
11.0mm1尾、8月のO-4に全
長7.5mm1尾、いずれも丸特ネッ
トにより出現した。

35. Carangidae アジ科

(98回出現、205尾)

Decapterus maruadi

(TEMMINCK et

SCHLEGEL) ? マルアジ?

(28回出現、101尾)

四季を通して出現し、出現盛期
は夏期、出現海域は沖縄南部海域
と沖縄北西部海域、主分布域は沖
縄北西部海域、出現個体の全長組
成は図-34に示した通りである。
出現個体の全長範囲は2.2-19.0
mmでモードは2.0-6.0mmにある。
マルアジは冬期の終り頃から産卵
を始め夏期まで続くものと思われ、
また産卵盛期は7-8月頃だと思
われる。しかしここでマルアジと
同定した稚仔魚にはまだ疑問点が
多く、沖縄近海にはムロアジ属が
他に5-6種ほど生息し、それら
の稚仔魚の相違点はまだ解明され
ておらず、したがってここでマル
アジと同定した稚仔魚は他のムロ
アジ属かもしれないし、またムロ
アジはもちろん他種の混存がある
かもしれない。

出現地点の表面水温範囲は20.6
-28.7°Cで個体数加重平均水温
は25.9°C、出現点数加重平均水
温は25.3°Cであった。

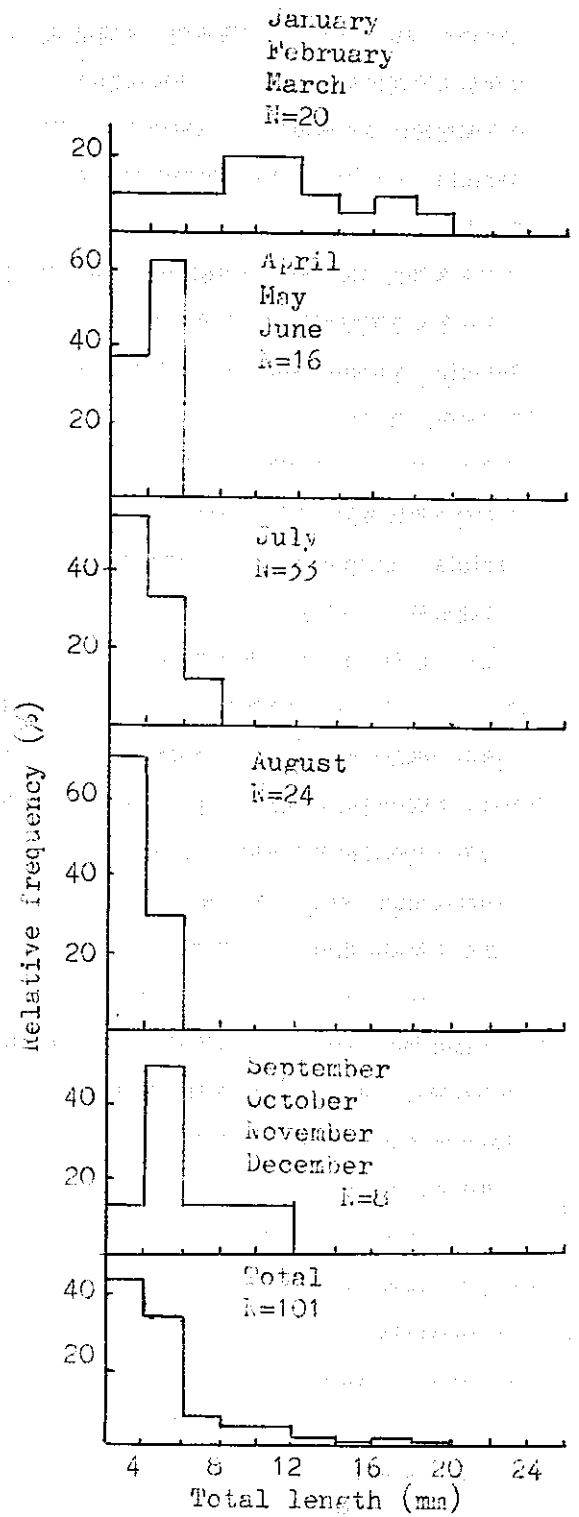


Figure - 34 Monthly total length composition of larvae of *Decapterus maruadi*?